



お知らせ

News



「比治山型アクティブ・ラーニング」キックオフ第1部・第2部を開催しました

2015年03月09日

3月4日（水）に、本学教職員合同研修会が開催されました。今回の大きなテーマは「比治山型アクティブ・ラーニング」です。

AP事業関連では、

1. 今年度の事業の進捗状況や来年度計画の全体報告
2. 学修成果の可視化として「新Hi!wayシステム」の構想の紹介

さらに「『比治山型アクティブ・ラーニング』キックオフ第1部」として

3. 「比治山型アクティブ・ラーニング」の定義と手法
4. 図書館ラーニングコモンズ「Me+Library（みらいぶらりい）」について

以上の4点が午前中に行われ、学内での具体的な実践例やその目的・効果などについての紹介と、アクティブ・ラーニングを支える環境について全体説明を行いました。教職員全体での参加率は8割強、120名を超える参加人数となりました。

続いて午後からは「『比治山型アクティブ・ラーニング』キックオフ第2部」として、教職員全員が3つのグループに分かれて、3種類の分科会をローテーションしました。

分科会Ⅰ アクティブ・ラーニング模擬授業

分科会Ⅰでは「ポスターツアー」を模擬授業形式で体験しました。

「グループワークの際に全く話し合わない学生たちがいる場合、どう対処するか」など、3つの具体的な議題について、6つのテーブルごとに議論し、その後チームのメンバーを入れ替えて、それぞれの議題とその解決策を共有する、という形式です。複数の課題について、短時間で深く学べる方法として有効です。

分科会Ⅱ アクティブ・ラーニング実践報告

分科会Ⅱでは、アクティブ・ラーニング実践例報告として、例えば具体的な教育目標のもとで、学生が地域社会に関わっていく過程の中で大きく成長していく事例や、理論を基に特定の事例をどう理解・支援すべきかを考えさせる課題によって学習が深まる事例などが具体的に紹介されました。また、まず教員自身がアクティブ・ラーナーであることの必要性や、学生に届け言葉を持つ教育者であるために、研究の充実や社会的活動が重要な要素であること、教育環境に必要な「時間」「空間」「仲間」、教育環境の大切さなど、重要な示唆がありました。

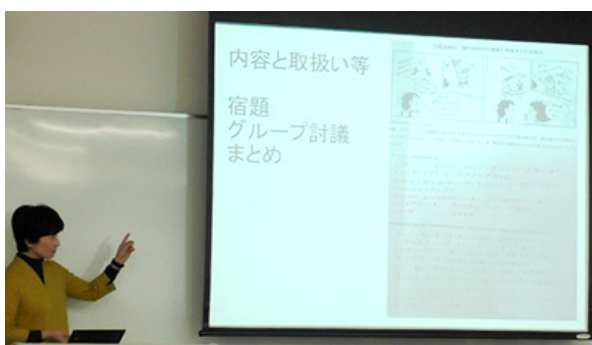
分科会Ⅲ ラーニングコモンズ「Me+Library」見学会

分科会Ⅲでは、図書館ラーニングコモンズ「Me+Library」を会場として、電子黒板の紹介や、アクティブな学びを支える環境としての可動式ホワイトボード・椅子・机の見学説明会が行われました。

各グループ30～40名の教職員が3つの分科会をローテーションすることで、「比治山型アクティブ・ラーニング」がまた一歩進むきっかけになったのではないかと思います。アクティブ・ラーニングの手法や形態を目的化するのではなく、一人ひとりの学生を、学ぶ意志を持った人間としてとらえ、彼らをより主体的・能動的な深い学びへ誘うために、教職員がそれぞれにできることを実践して共有していく、比治山らしいアクティブ・ラーニングを推進していきたいと考えています。

さて、「『比治山型アクティブ・ラーニング』キックオフ第3部」は、3月10日(火)、アクティブ・ラーニングで先進的な取組をされている、大阪大学の佐藤浩章先生を講師としてお招きし、公開型の研修会として開催します。当日申し込みも受け付けておりますので、直接会場にお越しください。多くの方々のご来場をお待ちしています。

[詳細はこちら](#)



もどる

比治山大学・比治山大学短期大学部 〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1

